

党再建に向け「進化する政党」へ 参院選、政党名を前面に、背水の陣 知事選、統一候補擁立へ調整役も

公明党京都府本部幹事長 大道 義知

——緊急経済対策取りまとめでの混乱や沖縄の米軍普天間飛行場移設問題をめぐる迷走など、鳩山連立政権は早や政権運営に赤信号が灯ったような印象を受けますが、これまでの鳩山政権について、どう評価されていますか。

大道 評価する前に、公明党として、まず先の総選挙における選挙結果を重く受け止め、真摯に反省しなければならないと思っています。その反省の上に立って、次の勝利に向けた闘いを今開始したところです。

民主党を中心とする鳩山政権は、「政権交代」という旗印だけで結束した感のある政党です。しかしその一方で、私は、時代の流れに極めて敏感に対応しある程度時代を先取りしようとしている政治集団だと思っています。だからこそ、国民は来たいし、政権交代を選択した。その意味では、我われも、今の政治状況から何かを学ばなければなりません。政権樹立後およそ3ヶ月が経過しました。国民は、鳩山政権に対して、期待と不安の両方を持っています。それを天秤にかけると、現段階では、期待の方が少し高いという情勢にあるのではないのでしょうか。真価が問われるのは、これからでしょう。

——民主党の政権奪取は、「時代の先取」にあったわけですね。

大道 例えば、鳩山政権は「コンクリートから人へ」の政策転換を打ち出しています。私は、これは時代の大きな流れだと考えていますが、そのキャッチフレーズは、10年前の民主党結成当時に既に発表されています。群馬県八ツ場ダム建設中止方針でも、「マニフェスト至上主義」で急遽やっているように見えますが、実は民主党シンクタンクの中で以前から練られてきたシナリオだと思います。こうした流れは、自公連立の10年間、同時並行の形で芽生え、流れていたわけです。ところが、時の自公政権は、この時代の流れを読み取れなかった。気が付いていたとしても「小泉選挙」の圧勝という言わばバブルの中で見落としていたのかもしれませんが。だからこそ、今回の選挙で国民の皆さんから「一回退場なさい」と勧告され、自民党にはレッドカードが、公明党にはイエローカードが出されたのだと認識しています。

——しかし、景気の二番底が懸念され、鳩山首相の偽装献金疑惑も問題化しています。鳩山政権の前途は、極めて厳しいものがあるようですね。

大道 識者等も指摘しているように中長期的な経済成長戦略がまるで見えない上に、前政権で実行しようとしてきた種々の景気対策が執行停止によってストップしました。これらの施策は、来年度予算の概算要求で相当復活しているようですから。政策実行の先送りに過ぎません。この執行の遅れが不況に拍車をかけ、国民の不安感を増幅させています。いわゆる「鳩山不況」が現実味を帯びてきた格好です。景気雇用対策は緊急の課題です。

偽装献金問題では、鳩山首相はまるで他人事のような発言を繰り返されていますが、政治に関わる者は、襟をきちんと正していただきたい。クリーンを標榜してきた民主党がこの有様では、国民の政治不信は頂点に達することになるでしょう。イギリスのケンブリッジ学派のアルフレッド・マーシャルという人が「政治家に求められているのは、Cool Head & Warm Heart & Clean Hand である」ということに他なりません。

——公明党は、慎代表に山口那津男氏が就任し、新体制をスタートさせたわけですが、党再生のポイントは？

大道 私は、激動する時代の転換期にある今、「変わってはならないもの」と「変わらなければならないもの」を、政党や政治家が深く自覚し行動しなければならぬと考えています。公明党は、今年11月17日で結党45年を迎えました。その輝かしい歴史には、庶民の手に政治を取り戻すために奮闘してきていただいた庶民の祈りと魂が息づいています。これは永遠に継承しなければならない行動規範です。今でも、福祉の党・教育の党・平和の党と呼ばれてきたように、これからも民衆の側に立った「庶民の政治」を構築するため、今後も福祉・教育・平和の理念を政治に生かすべく一層誠実に新しく行動していきたいと決意しています。

——変わらなければならないものとは？

大道 新しい時代を切り開く政治を実現していくためには、時代のスピードと、国民のニーズに的確に対応しなければなりません。公明党は組織政党であり、組織力・ネットワーク力の面では優れたものを持っていますが、これからの時代は、強固な縦型組織の運動論ではなく、一人一人の議員が地域草の根の活動を通して個性を出した自分スタイルの行動を確立し、国民一人一人とのネットワークをさらに拡大していくことが求められています。

私は、今でも庶民の味であるインスタントのチキンラーメンが好きですが、古くからあるチキンラーメンは一件、発売以来まったく変わっていないように思われますが、実は、時代に応じて味を微妙に変えています。今でも変わらぬ姿で生き続けているわけは、色のニーズを研究分析し抜く不断の並々ならぬ努力があるからです。こうした変化に対応できる「進化する政党・政治家」でなくては、次代をリードする責任ある政党にはなり得ません。

そのために、私は、文明的視野から次代を見る「鳥の目」、庶民生活から次代を見る「虫の目」、時代の流れから時代の流れを見る「魚の目」という三つの視点を持ち、行動していくことが大切だと思っています。

——来年の参院選にはどう取り組まれますか。

大道 参院選比例区の場合、非拘束式で個人名と政党名のどちらを書いても有効です。今まで公明党では、個人名記載を優先し運動を展開してきましたが、来夏の参院選では、比例区は政党名を前面に闘ってまいりま

す。

——政党名で戦われることには、どんなメリットがありますか。

大道 メリット、デメリットの問題ではありません。二票制の定着により政党選択の強い参院選になってきている現状も踏まえた対応です。また、私どもにとっては党再建のための旗印でもあります。参院選の目標は、全国で1千万票、京都18万票の獲得です。公明党のこれまでの最高得票は、政権与党時代の890万票ですが、逆風下の野党にあって、目標達成は至難の業だと覚悟しています。まさに背水の陣で臨みます。政権与党時代は連立重視で、党として独自色を出しにくい面もありましたが、連立効果のメリットもありました。しかし、野党における連立はありませんから、「公明党です」と、政党名を前面に打ち出し、全国3000人余の公明地方議員全員が候補者であるとの気概で全力を挙げて戦います。

——公明党は政権に引付きたがる、といった風評がありますが、鳩山政権に参画する気はありませんか。

大道 政党の生命線は政策です。しかし政策は実現してこそ意味があります。政党とは本来、政策を実現させるために存在する政治集団ですから、その目標を達するために政権を奪取するのは当たり前の話で、万年野党なんてあり得ません。民主党と連立して、国民の生活を本当に良くする政策が実現できるのであれば、あえて連立を組むことを否定はしません。しかし、民主党を中心とする現政権が、公明党の政策施策を全部否定し成り立っている政権であることを考えますと、全く相容れないわけで、現政権との連立はあり得ません。

——自民党との選挙協力はどうなりますか。

大道 保守・中道路線を軸にこれまでのお付き合いがありますから、友好関係を否定するつもりは毛頭ありません。お互い野党として独自路線で行きながら、その中で政策的に合致する面があれば、共闘しましょう。こういうスタンスです。どちらにしても、来るべき参院選は、新体制となった公明党京都府本部としても、新しい公明党として迎える初陣でもありますから、断固勝利しなければなりません。その意味では、選挙協力云々以前に、比例区や選挙区情勢を見据えながら勝利への流れを作れるよう対応していきたいと思っています。

——来春の府知事選では、現職の山田啓二知事の3選出馬が確実視されているわけですが、今回も自民、民主、公明の知事与党3党の「相乗り」は実現するのでしょうか。

大道 民主党中央は基本的に相乗り禁止ですから、すんなり実現するとは思えません。先の京都市長選での門川大作市長擁立でも、民主党は抜け駆け的に別行動を取られ、その後の市政運営にしこりが残ったことも事実です。

——民主党は、過去2回とも相乗りで山田氏を擁立し、山田府政を評価してきたわけですから、今さら別の新人擁立は考え難いと思うのですが…。

大道 新人と現職の場合とでは当然対応が異なることは承知していま

す。しかし、失礼な見方かもしれませんが、民主党圧勝の流れと、知事選の3ヶ月後に参院選を控えていることから考えると、地方の民主党の政治判断に対して、党中央が強い指導性を発揮されるのではないかと危惧しています。知事選は、不眠の福祉向上や地域活性化のため、自分たちのリーダーを選ぶ選挙です。個人の名前で選ぶわけで、政党を選ぶ選挙ではありません。知事選が政争の具となり混乱を招くようなことになれば、迷惑を被るのは不眠です。

——調整役として公明党の果たす役割は大きいものがあると思いますが、いかがでしょうか。

大道 公明党は対話を重視しながら合意形成を果たす調整能力を十分に持っている政党だと自負しています。大政党はどうしても「主演男優」を演じたがるものですが、私たちは、黒子とまでは行かなくとも「助演女優」でいきたい。なくてはならない存在である役割を担いたい。そういう役回りが、新しい時代、そして二大政党政治時代における第三党の役割と使命だと思っています。知事選においても、府民のための府政という立場に立って、しっかりと対応して行きたいと思っています。

